

事業シート

事業名		H28年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
こども研修事業		4,244 千円	1,800 千円	千円	754 千円	1,690 千円
健康こども部青少年課						
根拠法令						
事業の目的・対象		(平成28年度) 小・中・高校生が、東日本大震災被災地を視察し、現状や体験談を直接見聞きすることで、防災意識の向上を図る。研修で学んだことを市民に発信することにより、苫小牧市の防災について考える機会となり、また、異年齢による集団生活を通して、人と関わる喜びを実感する中から、協調性や自主性、社会性を身につける。				
事業の必要性		(平成28年度) 大震災の記憶を風化させず、子ども達の防災意識の向上を図り、自らの体験で得た知識などを苫小牧市の防災に役立てていくことは、有意義な研修であると考えている。				
事業の内容		<p>(平成28年度) 小・中・高校生が東日本大震災の被災地を訪問し、復旧の状況などを視察した。震災の記憶を語り継ぎ風化させず、本事業を通して集団行動による協調性や自主性を併せて学んだ。 帰省後、防災手帳を作成し、報告会の実施や壁新聞作成により研修の成果を市民に報告した。</p> <p>※(平成29年度) 姉妹都市である栃木県日光市等を訪れ、姉妹都市交流や文化、歴史を見聞するとともに、集団行動による協調性や自主性を学んだ。 帰省後、報告会を実施し、報告書を作成する予定。</p>				
コスト		人件費				
事業費 (H28年度決算額)	4,244 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)		従事職員数	
人件費	4,806 千円	担当正規職員	4,806 千円		0.7 人	
総 計	9,050 千円	嘱託職員	千円		人	
		再任用 (7R)	千円		人	
		再任用 (ハーフ)	千円		人	
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H28 年度	H27 年度	H26 年度
	小中高生の研修参加人数(定員)		人	50	50	60
成果目標		(平成28年度) ①被災地の現状を直接見聞きすることで、防災意識の向上を図る。 ②異年齢による集団生活を通して、協調性や自主性、社会性を身につける。 ③研修で学んだことを市民に発信することにより、苫小牧市のまちの防災について考える。				
事業の課題、今後の方向性等		異年齢による集団生活を通して、協調性や自主性、社会性を身につけることも重要な目的であり、意義のある事業であると考えている。被災地研修は平成28年度で終了となり、平成29年度は姉妹都市交流をテーマに事業を実施した。 今後も、研修内容を見直しながら事業継続を考えていく。				
特記事項						